





眼目明鑑卷之四

目錄

- | | | | |
|----|------|----|-------|
| 一 | 雜治內療 | 二 | 雜治外療 |
| 三 | 樞要 | 四 | 洗藥 |
| 五 | 塗藥 | 六 | 吸裁 |
| 七 | 蒸藥 | 八 | 澄藥 |
| 九 | 膏膜法 | 十 | 通治 |
| 十一 | 眼虫採燭 | 十二 | 惡血源下法 |
| 十三 | 五眼見分 | 十四 | 五臟尅障 |
| 十五 | 陰陽眼論 | 十六 | 寒熱辨義 |



付タリ 寒補熱泻

十七 治不治雜論

十八 四季振養

十九 肥瘦分別

附タリ 虛實

二十 食物宜禁

二十一 内外通禁

二十二 灸法

二十三 内瘡鍼

二十四 切膜口傳

二十五 血脉切分

二十六 血眼取血法

二十七 溫熱鐵

目錄終

眼目明鑑卷之四

雜治內療

風邪ニ中ラズト雖モ暴ニ眼ア

カク痛ニハ

黃連一匁 黃芩二匁 大黃一匁

山施一匁 甘草少

右煎シ服ス

○風邪ニ中リテニハカニ眼ア

カクウソ腫潤多キニハ

菊花二分 防風一分 石膏一分

獨活二分 甘草少

右水煎ノ服ス或ハ敗毒散主之

○眼赤クニハカニ腫潤多キハ

風邪肝ノ藏ニ有ナリ

羌活小 柴胡中 升麻小
白芷小 當歸小 黃連中
防風中 酒芍中 山梔小
芍藥中 川芎小
右煎服ス或ハ瀉肝湯撥雲散
花散コレヲ主ル
○飲食酒毒ニ傷ラレテ或ハ肝
熱シ眼赤クウソ腫痛ムニ
黃芩一分 柴胡一分 黃連一分
菊花二分 防風一分 甘草少
右水煎シ服ス
○風邪上ラセメ眼中アカキ筋
イテ及ビ黒眼ニ入モノハ肝肺ノ
二藏ニ風邪有之

桑白中 木賊大 菊花大
薄荷中 柴胡中 甘草少
右水煎シ温服ス
○右ノ關脉カアリテ眼アカク
ハレ痛ムニハ
石膏小 升麻中 黃芩中
山梔中 車前少
或云此証ニハ黃連解毒湯主之
黃連一分 黃芩一分 黃柏中
山梔 各二分
○飲食ニ傷ラレ勞役ノ眼クラ
ク内瘡トナリタルニハ
芍藥大 黃柏大 升麻小
葛根小 黃芪中 人參中

蔓荊小 甘草少

○腎水カレツキ形ツカレ漸ク

眼クラク成タルニハ

人參小 甘草小 白芍中

交門中 羌活小 防風中

當歸中 柴胡中 地黃大

右水煎ノ服ス或ハ六味地黃丸

コレヲ主ル

山藥各三 牡丹中

茯苓各四 熟地八兩

右末ノ蜜ニテ丸ジ淡湯ニテ用

○常ニ氣サカノホル人眼中翳

膜イデ、外痛ムニハ

黃連小 外麻小 柴胡中

防風小 黃芪小 黃芩小

薄荷大 生地大 甘草小

右或ハ川芎茶調散主之

川芎各二 薄荷四兩

白芷各二 甘草各一

細辛半兩 防風五錢

右末ノ食後ニ茶ニテ服ス

○心氣ウツケツノ膜出テ洞

オク出ルニハ

細辛小 川芎大 菊花中

荊芥小 陳皮大 香附中

白朮大 青皮中 柴胡中

防風小

右水煎ノ服ス或ハ香蘇散ニ

川芎 薄荷 枳實

防風 菊花 如神

○ 傘門ノ相火ツキ上リテ眼ア

ガクイタムニハ

知母 黃柏 甘草

右水煎ノ温服ス

○ 血熱シテ眼ニハカニ赤ク痛

杜丹 生地 芍藥

柴胡 甘草 少

右水煎メ服ス或ハ三黃圓ニ柴

胡ヲ加テ用テモヨシ

○ 眼ニ疣イヅルアリ大豆虫

ヲ擦テ黒ヤキニシテ胡麻ノ油ニ

雜治外療ニ

テ子リソノ目疣ノサキヲ引刀

ノ右ノ藥ヲ付ルナリ

○ 龍ノ血人ノ眼ニ入ハ則癒ス

ルモノナリ猫ノ毛ヲ黒焼ニシ

乳ニテ解テ点スルカ佳也

○ 腫子ニ穴デキテ深ク穴ノメ

クリニ外瘡カ、リタル証アリ

内藥ニハ敗毒散サレ藥ニハ

白石 滑石 射香 麝骨

右未ノ用之

○ 病目イヘカタキニハ熊膽ヲ

婦人ノ乳ニテ解テ点ベシ

○ 眼ニ腫ノ如ナル物平ニ出テ

晴ヲ包ム一有ニハ引カサテ
血ヲ出し或ハ生ル水蛭ニ血
スハレメテ

鹽砂

蓬砂

礬石

丹砂

草史

射香

樟腦

右末ノ点スベシ

○眼ニ星アリテ瘡カタキニハ
朱砂丹砂ニ味ヲ末ノ婦人ノ乳

ニテ解星ノ上ニ点之

○篠推眼ニハ雞冠ノ血ヲ乳ニ

テトキ点之或ハ鐵漿ト術ノ葉

ノ槁汁ト等分ニ合ノ可点

○眼ニ惡血ヲクレテ夜アル

ニハ竜腦ヲ末ノ乳解テ点之

○爛目ノスリ藥石膏鹽砂

青藥右末ノ乳ニテ解テ点之

○眼風毒ニ中レハ必ス取大ニ

ハル、者也白礬杏仁

桃仁燒塩右末ノ乳

解テ眼上取ヲヨビ顔ニスル也

○目瘡ヲ治スルニハ引刀ニテ

黒血ヲトリテ角石末ヲ細

末ノフリカケテ佳也

○疱瘡眼ナカハ瘡タレ片星ノ

ヨリテ退カサルニハ

蛇骨一分角石二分天石二分

右末ノフリカケベシ

○一切ノ諸眼ニ星アリテ除サ
ルノ年久シク諸藥効アラザ
ラ治ス石燕子ノ貝子ヲ筥ニ入
スリ破テ皮ヲサリ溶クトノ点
之ニ妙ニ有驗

○泪多ク出テ留ラサルコハ
白丁香ヲ細末ノ乳ニテ解点
○疳眼ニハ鮑ノ腦ニ白輕ヲ加
ヘ調合ノ溶タトノ点之甚有驗
○雀目ヲ治スルニハ雞冠ノ血
ヲ日ニ乾ノ射香灰シ加ヘ共ニ
末ノ乳ニテ解テ点之傳白此
藥内障ニ用テ奇効ヲ得タリ
○眼平ニ痛テ何トモ堪カタク

ニハ早ク藥ヲ以テ療治スヘシ
白丁香 天南星 枳殼粉
右細末ノ点之

樞要 三

○下目差別

白眼ニ紫色ノスチ出テ黒眼ニ
入テ其カタチ浮雲ノ如シ治
ニハ竜腦散ニ金薄ヲ加ヘ竜腦
ヲ倍ノ眼ノ痛ヲ一ノ泪ノ出ル
ヲヤメ大小背ノ爛ヲ痊スベシ
或ハ下目ト星トマレハリ出ル
トキハ真珠散ヲ用ユ但シ下目
ノ藥ヲ多分ニモテヒテ餘ノ
ハ少分ニ用ヒヨ又龍腦散モ

○膜差別

内瘡ト膜ト交ルトキハ明
ト九種龍腦散ヲ用ユベシモシ
膜カユク赤キ脈タカク出ルニ
ハ強添ノ藥ヲモチユヘシモシ爛
アラバ青藥ヲ加フ若疼痛ア
ラバ萘貝ヲ加フ
○下目内瘡間出差別
下目内瘡ヲ患フルノ人ソノ眼
性虚弱ナラバ朱砂丹砂ノニ味
ヲ用ユベカラス宜ク九種龍腦
散ヲ用ユベシ又内瘡ト下目ト
外瘡トミレハリ出ル証モ又如是
ニ証トモニ九種龍腦散ヲ用

○瘡秘術

内瘡ノフマツ黒内瘡ノ五ヶ月
ヨリ前ニ見ルモノナリ其形四
ガヨリ膜脉サシラツマリ黒眼ス
ホミアガルモノ也其時脉ヲヨク
見ワケ係切ニテキリ代赫赤石
石史身石ホノ藥ヲ用ユベシ如
是ノ四七日ラスクル時ハ半ハ
イユコレハ膜ノ障礙ニテ見ヘ
カスル也モシ又療治ナカハノ
時膿ノ如クナルモノ出ルハ治
シカタシ如クノ膿青色ナラバ
治シヤスシ
或ハ又外瘡ナフモノ内タ

ニゴリテ視ユル者ハ治シ易
或ハ腫子ニ瘡青黒ニ發メソ
発スルトキハ水輪ナフノ後ニ
水輪大ニ開モノハ治シ難シ
或ハ又ウハ皮ツ子ノ眼ノ如ク
清クシテ二三重底ニ水輪ヒラ
イテタトヘバ遠處ノ池水ヲハ
ルカニ見ルガ如シコレハ疵目
打目等ノ証カクノ如キノ内瘡
ヲ發スルナリコレヲ治スルニ
ハ懸切ヲ以テ四方ヨリ切サキ
強盛ノ指藥ヲ点スベシモシ四
方ヨリ懸切ヲ用ヒズレハ何ヲ
以テカコレヲ治センヤ是ハ皆

内瘡ノ症也故ニコノ疾ノ眼
ソノイロ青シ

黄内瘡ノイマツ初ニ黒眼ニ淋
水ノ如クイカニモ白物アラハ
黄内瘡ト意得ヘシソノ白物ヲ
スクナルニシタカツテ白眼ヨ
リ半月ノ如クニ内瘡ノ黄色ナ
ルヲアラハスモノ也モシソノ
黄色腫子ニ滿サルハ治スベシ
モシ腫子ニ滿ルトキハ治スベ
カラス鍼ヲスルニ口傳アリサ
シクスリニハ

白名 一分 滑石 一分 眞珠 一分
蛇骨 二分 雀子 二分 天石 三分

射香^{シカウ}少^シ 右^{ミナミ}ホノ蜜^{ミツ}ヲ以^モテ

針^{ハリ}ヲ立^{タテ}テ後^{ノチ}ソ、一^{ヒト}点^{テン}スヘ

○中^{ナカ}瘴^{ショウ}口^ク訣^{ケツ}

中^{ナカ}瘴^{ショウ}ノ形^{カタチ}ハ瞳^{ヒトミ}子^コノ上^{ウヘ}ニ雪^{ユキ}霜^{シロ}ヲ

ツムカゴトシ白^{シロ}々^{ハハ}トシテ膜^ホト星^{ホシ}

トアリソノ膜^ホト星^{ホシ}目^メヲカサスレ

ハ宛^モトメウセルモノナリモ

医^イ療^{リョウ}アレケハ白^{シロ}キ物^{モノ}居^イト

サリカタシ唯^タコノ証^{シヤウ}ハ係^ケ切^{キリ}ヲ

テキリサキサレ藥^{ヤク}ニハ眞^{マコト}珠^{ジュ}散^{サン}

ニ天^{テン}右^{ミナミ}ヲ加^カテ点^{テン}之^ノモシ星^{ホシ}シリ

ソキ去^サハ宜^{ヨシ}ク熅^{セン}鑽^{コン}ヲ用^{モチ}テ

○疵^{キズ}目^メ口^ク傳^{デン}

自^{ミヅ}ノ一^{ヒト}モシ眼^メヲトチフサクト

モ小^コ疼^イツルモノ也^{アル}或^{アル}ハ膿^ナヲ生^ナ

スルアリモシ蒸^{シヤウ}スル一^{ヒト}アラハ

取^ニノ外^{ホカ}ニ宜^{ヨシ}ク炮^{パウ}鑽^{コン}ヲ用^{モチ}テ

杏^{コウ}仁^ニ白^{ハク}輕^{ケイ}脂^シ帶^{タイ}ヲホノ乳^ニ汁^{ジュ}ヲ

テ子^コリ指^{サシ}ベシ又^{マタ}杏^{コウ}蘇^ソ散^{サン}ヲ一^{ヒト}七

日^{ニチ}アタフヘシ

○輪^{リン}月^{ゲツ}口^ク傳^{デン}

黒^ク眼^{ガン}ノ端^ヘヨリ月^{ゲツ}輪^{リン}ノ如^ニク圓^{エン}満^{マン}

シ又^{マタ}ハ半^{ハン}月^{ゲツ}トク出^{イッ}ル者^{モノ}アリ

ソノ月^{ゲツ}輪^{リン}圓^{エン}満^{マン}スルモノハ治^ナシカ

タキ証^{シヤウ}ナリ半^{ハン}月^{ゲツ}ノ如^ニクナルハ治^ナ

シヤスキ証^{シヤウ}也^{アル}或^{アル}ハハジメ半^{ハン}月^{ゲツ}ノ

如^ニクニシテ後^{ノチ}ニ滿^{マン}月^{ゲツ}ノ如^ニクナ

治^ナシカタシ早^{ハヤ}ク半^{ハン}月^{ゲツ}ノトキ療^{リョウ}ナ

治^ナシカタク早^{ハヤ}ク半^{ハン}月^{ゲツ}ノトキ療^{リョウ}ナ

治^ナシカタク早^{ハヤ}ク半^{ハン}月^{ゲツ}ノトキ療^{リョウ}ナ

治^ナシカタク早^{ハヤ}ク半^{ハン}月^{ゲツ}ノトキ療^{リョウ}ナ

スベシコレヲ治スルノ法ハ宜シ
眞珠散ヲニ七日用ユバシモ

治適半ニヲヨバ、熅鐵ヲ用イテ

白眼ト黒眼ノサカヒヲ灸當ヘシ

○白眼地血不退治法

白眼ノ地ノ惡血レリツカスニハ

宜ク熅鐵ヲモチユヘシ眠ノヒニ

カヘシテ眠ノモトヲ灸アツヘシ

○黒眼出物口訣

黒眼ノ出物ハ赤ツブノ如ク黄

イロニスホミアカル也ソノモトヨ

リ中ホドニイタリテハ血アリ其

赤ハ水アリ是ヲ治スルノ法ハ

ソノ赤ノ水ノ處ヲ銀針ニテ

ニコレヲ刺裏ニツラスカヌヤウ

ニ水膿ヲトルベシ又出物ノ本ノ

ニハリニ引カノ血ヲトルベシ指藥

ニハ藥力ノ強盛ナルヲ專トス

○釣膜口傳

釣膜ハイクタヒモ割之テ白膜散

ヲ用ユヘシ次第ニ少ツ、削之テ

藥ヲ点スヘシ治ナカハナラハ係

切ヘシ熅鐵ノヲ見合ニスヘシ

惣ノ病人壯人ナラハ熅鐵モ多

ク當ベシ引刀係切モ猶是老人

ナドノ氣體虛弱シタルニハア

ナリ多クハ當ベカラザル也

○藤膜口傳

早朝ニ温湯ナラビニ洗藥ヲ
テ眼ノ膜ニ灌キテヤハラケ
クベシソノ後燭ニテヤクベ
シカケ藥ハ朝晝タニコレヲ用
ユベシ懸切ヲ以テ地ノ惡血ヲ
サルコ一七日ニ三度ニ及ビソ
ノ後三日ヲキテ熱燭ヲ用ヒ又
一七日ヲキテ内藥指藥兩様ニ
アタフヘシ

○眼内出血物更

土肉目蛭目菌下目等ナリイツ
レモ引刀ニテ血ヲトリ熱燭ヲ
用テコレヲ治セヨ

○目胞更

上眼ノウチニ出テソノ形大目
ノ如ク堅キ者ナリ治法ハ引刀
ニテコレヲ破熱燭ヲ用ユベシ
一説ニ云是ハ眼腸ナリト或ハ
又ソノ紅ナルヲ鳥ノ膽ノ如シ

○外瘡更

外瘡ノ病因ハ多クハ瘡瘍ナド
ノ餘毒眼目ニトニリテ外瘡ト
ナリ年々シク退ズノ瘡ヲナス
也水銀ヲスリホメ点スレハ星
外瘡タチニチニ消失ナリ

○清目速生霞更

何トモナキ眼速ニカムムノ苦
シカラサル也世人コレヲ見テ

内障ト名ツクレ氏必シモ然ラ

ス是ハ腎ノ藏風毒ニ感スレハ

如是ノ証トナルナリ指藥ニハ明

上散内藥ニハ香蘇散ヲ用ヘシ

○常眼生火更

何氏ナキ眼ニ卒ニ火出ル有

是ハ打目ノ謂ナリ竜腦散ニ金

薄ヲ加ヘテ点之打目ノリヤウ

チヲ專ラトスヘシ

○常眼生疼更

何トモナキ眼卒ニ疼出ル有

白芷湯ソノ外疼ノ止ル藥ヲ用

エレ氏疼リソカサルトキ本方

十八味竜腦散ヲ用テ妙ナリ

○常眼大小腎腫出更

何トモナキ常ノ眼ニ卒ニ大小

腎ヨリ膿泪イツルアリ是証ハ

糸トキ疳瘡ヲ患テソノ餘毒肝

心ノ間ニ止リ今眼ニ發生スル

ナリ療治口傳アリ

○諸眼霞更

ソレ諸眼ノ霞ニハミツ流氣飲

ニ枚椰子大黃ヲ加ヘテ用ユ

○白黒花更

眼ニ花ノ散乱スル一内障ノ基

ナリ流氣飲補眼飲ヲ用ユ口傳

○黒眼驚事

黒眼掠ノ實ノ色ノ如ニハ驚

限月明鑑四

ク外瘡厚クハミツ頭下フアム
ヘ引刀ヲ用ヒ熱鐵ヲテカケ
藥ヲ用ユベシ口傳アリ

洗藥

清眼湯

藤膜薰膜等ノ洗藥

當歸 一匁 桑皮 一匁 黃連 一匁

芍藥 一匁 草决明 各一匁

右水ニ盃八一盃ニ煎ジ眼上眼

ヲ洗フベシ

千金湯

一切諸眼ノ洗藥

當歸 一匁 芍藥 一匁 地黃 一匁

秦皮 一匁 楊柳木皮 一匁

草决明 一匁 黃連 一匁 杏仁 一匁

山梔 一匁 蘇木 一匁 黃柏 一匁

右煎ジ洗フ

新效散

肝腫ノ眼赤ク腫ヲ治ス

荊芥 一匁 當歸 一匁 芍藥 一匁

黃連 大

右煎ノ眼上眼ヲ洗フベシ

洗肝湯

肝大過ノ腫疼ヲ治ス

川芎 一匁 黃連 一匁 秦皮 一匁

黃柏 一匁 當歸 一匁 甘草 一匁

右等分ニ合セ煎ジ洗フベシ

菊花連施湯

諸眼爛目等ヲ治ス

黃連 三匁 山梔 三匁 薄荷 一匁

沉香 一匁 防風 一匁 荊芥 一匁

右煎ジ洗フベシ

一方 卒ニ眼煩熱ノ泪多出

黃連ヲ煎ジテ眼中ハ灌ヘレ

一方 病目血多ク疼痛スルニ

黃柏 瀉霜 白礬

右煎シ紙ヲ以テ漉イダシ再ヒ

アタメ洗フニ甚妙ナリ

塗藥 肝ノ藏風毒ニ感ジテ

治眼膏 眼赤ク腫ルヲ治ス

熊仁 杏仁 白礬

燒塩 少 各一分

右スリ合乳ニテ練眼上取ニ塗也

明眼煎 眼赤ク腫開キ難ク治

草决 秦皮 各等分

右煎シ黃連ヲ粉ニシテ攪マセ眼

上取ニ塗ニ甚效アリ極秘ナリ

青藥散 タバレ目ヲ治ス

青藥 牡蛎 樟腦

丹礬 燒 各一分

右乳ニテ練眼ニ塗眼中ニ不入

一方 諸眼惡血多ク甚腫ヲ治

辰砂 明礬 少

右末ノ乳ニテ子リ眼ニ塗也

一方 病目風眼等ノ諸眼完キ

カタキヲ治ス

杏仁 臍帶 明礬

右末ノ乳ニテ解眼ニスル也

一方 眼塗ヲ治ス

青藥

蓬雪 各々分

右調合ノ目中へ不入眼ニ塗也

吸截 六

秘鐵

一切病眼惡血多キヲ治

ス惣ノ熱金引刀ナドヲ燻フ人

ニ用之

角石ノ金隨角ヲ竹ノ皮ニテ

卷火ニクベ燒黃百ノ煎湯

ニヒタシ其ノチトリ出シ又再

ビ燒紙ニテ包ミソノ切口ヲ

顯メ惡血ノ所ニアテ暫々ノ

トリテ見レハ惡血ソノ角ノ

切口ニ付テ出ル者ナリ重テ

用ヒハ切口ヲ新ニ當ヘシ

惡血多ハ上下ノ眼ニモ當ヨ

煎藥 七

川芎湯

藤膜簾膜等ノ諸眼治

人參

川芎

白芷

薤苳

當歸

芍藥 各一

黃連 二分

右末ノニ名ヲ煎シ袋ニ入テ眼

上眼ニアテ燻ナリ

黃連湯

膜目中瘡虫膜爛目外

瘡一切ノ病眼ヲ治ス但レ風毒

眼ニハ

當歸 大

芍藥 中

丁子 少

黃連 二五

黃芩 中

檳榔 五枚

右天目ニ水ニ盃入一盃ニ煎シ

ノノ鍋ニ切蓋ヲ合セ蓋ノ正中ニ筒ヲサシ入テ蒸ヘシ口傳

一方 治症前ニ同シ

黃連 黃芩 檳榔

右煎燂ノ法同前眼アカク肉ヲオクハ眼中へ息ヲ不入口傳

黃連治翳湯 諸眼膜外障ヲ治

黃連 黃芩 大黃 當歸 檳榔 各等分

右煎ジナルホト温クノ器ニ移シ蓋ヲノ息ヲコメソノ蓋ノ正中ニ穴ヲアケ其穴ニ竹ノ筒ヲサシイレ其竹ノ筒ノ穴ヨリ息ヲ出シテ眼上臍ニアテ蒸ベシ

右ニ口傳ト去ルハ秋事ナリ

澄藥

金山寺澄 一切ノ濁眼ヲ治

石膏 白礬 寒水 蓬砂 射香 真珠

右細末ノ魚スベシ

盧岩散 諸眼ヲ和ゲ血ヲサリ

爛ラ座ニ一切ノ星ヲ外諸ノ

濁眼ヲ澄ス藥ナリ

盧岩 角石 真珠 辰砂 塩砂 竜腦

右細末ノ蜜ニテ練テ点スヘシ

テシ疼アラハ白丁香ヲ加ヘヨ

目瘡ニハ白礬ヲ加フ

寒水膏 諸眼ノ澄藥

寒水 一分 石膏 五分 竜腦 一分

辰砂 一分 射香 少

右細末ノ蜜ニテ練点スベシ

白梅散 一切ノ病眼ノ澄藥

射香 少 蛤石 一分 寒水 一分

石膏 一分 竜腦 一分

右末ノ蜜ニテ練点スベシ星ア

ラハ天石ヲ加フ濁多キニハ真

珠ヲ加フ

魚子 諸眼惡血ヲハシ星アリ

外障アリ膜アリテ諸藥効ナキ

ホトノ甚シキ病眼ヲ治スソノ

外一切ノ澄藥ナリ大秘方也

石膏 一分 辰砂 一分 寒水 一分

貝母 少 蓬砂 一分 竜腦 一分

射香 一分 真珠 一分

右蜜ニテ練テ点ス

大明散 諸ノ病眼ヲ治シヨク

濁障ヲノゾク聖藥ナリ

寒水 一分 炒石 一分 蓬砂 一分

石膏 一分 生腦 二分 竜腦 一分

射香 少

右末ノ蜜ニテ練点スベシ

紅毒散 方論前ニ同ジ

竜腦 一分 青石 一分 辰砂 一分

寒水二分 煑石二分 龜石一分

真珠二朱

右末ノ蜜ニテ練点スベシ

真珠散 諸眼ノ霞ヲ睛ス澄淨

竜腦一朱 真珠一朱 寒水一朱

落磯一朱 辰砂見合 煑石一朱

右細末ノ蜜ニテ練点ス

清明丹 諸病眼并血多ヲ治

竜腦一朱 煑石一朱 寒水一朱

樟腦一朱 朱砂二朱

右末ノ蜜ニテ練点スベシ

膏膜方九

走膜ヲ膏シムルハ厚外瘡膜

ソノ外釣膜等ノ障礙ヲヨキ眼

ニハ用ユキリニ此ヲ用ヒバ却

テ眼ヲ損育スルヲアラシ可慎

金王丹 諸翳膜多ク或ハ星外

瘡等ノ障ヲヨク除ク藥ナリ即

クチ紫ナリ

辰砂 丹砂 蓬砂各一分

貝石 貝子各二 天石一分

右末ノヲキサテ木賊柴胡外麻

右三味ヲ等分ニ合セ水一升ニ

煎ジ一合ト成テ綿ヲ以テ濾出

シ練カタメテ右ノ六味ノ石

ヲトモニ調合ノ陀蘇子ノ油ヲ

入蜜ニ調エユルクトノ大背ニ

粟粒ノ大サニ点テ膏亦葉ヲ

以テ眼上ヲ覆テ一石ヲ經テ明
ル日早朝ニ清明丹真珠散等ノ
藥ヲ用ユベシ清明丹真珠散方
見澄玉ホク部ニ

五金膏 外瘡膜翳ヲ腐ラカス

聖藥ナリ口傳多キ事ナリ

竜腦 射香 樟腦

真珠 辰砂辰砂各一 天南天南二分

右末ノ比藤子ノ油ニテ練点ス

ル一前ノ如クス口傳アリ

虎眼散 一切ノ外瘡ヲ腐ス方

生腦生腦二朱 龍腦龍腦一朱 丹砂丹砂一朱

辰砂辰砂一分 朱砂朱砂二分 天石天石一朱

虎眼虎眼一兩

右末ノ之ヲ点ズル一三七日ニ

及ハハ膜ノ如ク腐イツルモノ也

ソノ後真珠散明珠散等ヲ可点

圓壽五金膏 ヨク外瘡翳膜ヲ

腐ラス最上ノ藥ナリ風毒眼病

目ニハ大ニ戒ムヘシ唯藤膜釣

膜星等ノ眼ニ宜ク可用之口傳

沉香沉香二兩 黃連黃連六兩 地黃地黃二兩

白檀白檀二兩 木賊木賊三兩 背錢背錢三兩

右粘ノ如ク煎シ左ニ記ストコ

口ノ石葉ニ調合スベシ

竜腦竜腦二朱 射香射香一朱 明珠明珠一分

天南天南二分 辰砂辰砂一分 黃丹黃丹一分

右末ノ前ノ藥葉ニ合セ蜜シス

テ昆蒜子ノ油ニ調ヘ合ノ可点

通治

竜腦散

一切ノ病眼寒熱ヲ論

ゼス虚實ヲ不問血脈無血脈外

障内障中障膜障風毒眼等ヲ治

竜腦一朱 射香半朱 白礬一朱

煅礬一朱 石膏一兩 辰砂半兩

蓬砂一兩 貝齒一兩 真珠一兩

朱砂一朱 麝香一兩 黃丹一兩

生薑一朱 草决一朱 白丁一分

角石一朱 代赭一分 根石一分

右細末蜜ニテ練リ点ス

清眼丹 蕪膜輪月移膜天障外

障中障内障目癢膜月目蛭等ノ

諸眼五品ノ内障ソノ外一切ノ

病眼ヲ治ス方澄茶ノ部ニ入リ

紫雲膏 風眼病目一切ノ翳膜

并ニ諸障ヲ治ス

龍腦一朱 麝香一朱 蓬砂一兩

辰砂一兩 丹砂一兩 煅礬一兩

右細末メ黃連ハ西 防風分杏ニ

ニ分芍薬ニ分ヲ粘ノ如ク煎シ

堅メテ右ノ石茶ヲ合テ可点

金明丹 諸眼ノ治藥ナリ何レ

ノ証ニテモ治セスト云フナレ

竜腦三朱 射香一朱 生腦朱中

煅礬二分 辰砂三分 丹砂二分

牡蛎一朱 蓬砂一朱 貝石二朱

石膏一分 寒水二朱 白礬一分

白竜

壺砂

右ホメ蜜ニテ練テ点スベシ外

瘡ツヨク八角名真珠天石ヲ加

目瘡ニハ白輕擦石ヲ加フナ月

刺月ニハ麒麟血貝子蛇骨虎肉

白石脂ヲ加フ内瘡ニハ石决明

草决明真珠炒茗ヲ加フ老眼虚

眼ニハ真珠草决明石决明ヲ加フ瘡

月ニハ赤石脂貝子白丁香地骨

薤子ヲ加フ瘡瘡目ニハ貝子蛇

骨ヲ加フ

眼虫拵

十一

眼ニ虫ヲ生スルヲ爛目血眼古

血膜ニコレアリ是ハ肝ノ惡

血寢ノ如是モシ虫アリト知ハ

苦辛地黄二味ヲ末ノ香油ニ盛

火ヲ以テ燭ブベシソノ時頭ニ

厚キ衣ヲ覆テ煙ヲワキヘ出サ

ヌヤウニソノ姓目ノ處ハカ

リヲ燭ヘシ必ズ頭黑キ小虫出

ル者也但シ淚ト、モニ出也

惡血泻下法

十二

主眼ニ汚血ノ方ヲ用ルハ古

血膜氣逆上スル眼或ハ惡血甚

タ多キ眼等也惣ノ血多キ眼ニ

ハ先コノ方ヲ用テ後証ニ隨テ

余ノ藥ヲ用ユベシ

四三湯

七眼下トセ語ニ是ヲ

云ナリ諸眼ノ惡血或ハ頭痛或ハ月眩等ノ証ヲ治ス

香附 當歸 黃芩

黃連 桂枝 丁香

枳實 地黃 川芎

芍藥 大黃 沉香

右ニ各ヲ一貼トメ水天目ニ二

盃入一盃半ニ煎ジニ番ヲ水ニ

盃入一盃半ニ煎ジニ番ヲ水ニ

盃半入一盃半ニ煎ジ四番ニ水

四盃入一盃半ニ煎ジ是ノ如ク

七度煎ジテ一ツニ合メ一七日

コレヲ与フベシ 是モ世詔ニ七服下ト

當歸湯

名ヅク諸眼ノ膜翳一切ノ惡血

上ニ有テ頭痛ヲヨビ眼痛セシ

ムルヲ治ス

當歸 川芎 肉桂

黃連 黃芩 木香

白朮 大黃 人參

右煎シヤウ同前七度ニ及ブ

治血圓 一切ノ病眼膜翳ソノ

外惡血多クノ眼ヲ遍種スニ十

變方化スル眼ヲ治ス

大黃 黃芩 川芎

白芷 人參 當歸

牛膝 枳實 茯苓

白朮シロネ 一分 甘草カンサウ 二分

右細末ノ十々ニ巴豆ハド一々ヲ加

ヘ右ノ藥ト調合ノ麥マクノ糊コニテ

煮豆ノ大サニ丸マノ木粒キリツハ

人參湯ニンジンジュ 諸眼ノ障翳ショウイ一切ノ惡

血上ヲ逼テ頭痛カウ目眩メゼン等ノ症治

大黃ダイカウ 二分 人參ニンジン 一分 藁本カウホン

當歸トウキ 黃芩ワウキン 黃連ワウレン

川芎センカウ 白芷ハクシ 芍藥シャクヤク

沉香センカウ 各一分 黃柏ワウハク 杏附カウフ

甘草カンサウ 各二分

右藥シコヤウ同煎コレヲ七服下

ト各ク秘方ナリ此方内瘰二用

ルアリ甚タ口傳アリモシ血

多キ人ニハ人參ヲ除クベシ

黃連湯ワウレンジュ 七服下也治証前ニ同

大黃ダイカウ 二分 黃連ワウレン 黃芩ワウキン

當歸トウキ 枳實シ 枳殼シ 藁本カウホン

白芷ハクシ 地黃ヂカウ 芍藥シャクヤク

人參ニンジン 薤白カウサウ 甘草カンサウ

川芎センカウ 黃芩ワウキン 肉桂ニクキ

桂心ケイシン 各一分

右藥シコヤウ煎ニ同ジ及七度

振藥キナ 証前ノ如シ

大黃ダイカウ 二分 川芎センカウ 白朮シロネ

肉桂ニクキ 黃連ワウレン 當歸トウキ

黃芩ワウキン 桂枝ケイシ 藁本カウホン

川芎センカウ 甘草カンサウ 各一分

右藥シコヤウ煎ニ同ジ及七度

振藥キナ 証前ノ如シ

大黃ダイカウ 二分 川芎センカウ 白朮シロネ

肉桂ニクキ 黃連ワウレン 當歸トウキ

黃芩ワウキン 桂枝ケイシ 藁本カウホン

川芎センカウ 甘草カンサウ 各一分

右藥シコヤウ煎ニ同ジ及七度

五眼見分

フ然則又五臟毛眼ニアリ

赤筋属心火

赤胸苦南箋。

火者ヒハ 尅ユクス 金カネ

小腸舌血毛。

火者生ヒハキヤウシユ五

黒眼屬肝木

熱 アツク	令 アツク
山 ヤマ	細 ホソ
梔 シ	辛 シ
蚶 カキ	阿 ア
床 トコ	膠 カウ
突 ツク	菊 キク
明 アカリ	花 ハナ

青頭酸アヲシカヲスシヒカレハル東春。

木キハ者モノ冠カウツナ玉タマ

膽腑タンブ 眼筋ガンキン 爪ツメ

木者生火

腫子屬腎水

熟トイ 石解キコウ 卑解ヒゲ 沢泻タクシヤ
 冷トイ 牡仲ボウチュウ 鹿茸ロウキョウ 菟絲トシ

黑雕鹹北冬

水者ミヅハ尅コタ火カ

膀脱骨耳齒

水者生火

白^{シロ}眼^{マタ}属^ミ肺^{ハク}金^{キン}

熟 マツ	冷 レイ
貝母 バイモ	干姜 カンキヤウ
車前 シャゼン	半夏 ハンゲ
木通 モクツウ	紫苑 シエン

白シロ腰コシ辛カラ西ニシ秋アキ

金者尅木

大^{ダイ}腹^{ハツ}鼻^{ハナ}皮^{カハ}息^{イキ}

金君生

上下肢屬脾土

冷木香 丁香 白檀

黃腹甘土用中

熟柴胡 木藪 人參

胃腑唇肉乳

土者生金

五臟尅障

上四

○水与金戰トキハ眼疼ヲ生ス

○土与火水戰トキハ堅ヲ生ス

○土与木戰トキハ外障ヲ生ス

○火与水戰ヘハ厚外障ヲ生ス

○土与金戰トキハ弱膜ヲ生ス

○水与土戰トキハ月輪ヲ生ス

○土与水寒ノ不和ナレハ内障

ヲ生ス

陰陽眼論

十五

陰眼者膜筋クホカ也寒ナリ腎

ノ藏ニ属ス補温ノ劑ヲ用ベシ

陽眼ハ膜筋タカシ熱ナリ肺ノ

藏ニ属ス冷藥ヲ用ユヘシ

或云泪温ニノ出ルハ陽眼熱眼

ナリ泪冷ニノ出ルハ陰眼ナリ

冷眼ナリ

或云陰眼ハ治シガタク陽眼ハ

治シヤスシ

或云眼蓋仁ノ如クナルハ陰眼

ナリ治シ難シ即チ冷眼ナリ

或云大背ヨリ血脉出ルハ陽眼

ナリ熱ナリ治シヤスシ或ハ心

火ノ實ナリ

小背ヨリ血脈イヅル冷ナリ陰
眼ナリ難治或ハ心火ノ虚也
或云眼ノ鰵ハコレ陰眼ナリ紅
色ナルハコレ陽眼ナリ
或云上ヨリ障礙ヲ成モノハ是
陰眼ナリ下ヨリ障礙ヲナス者
ハコレ陽眼ナリ

寒熱辨義 附寒補熱法

夫眼ハ大抵熱ヨリ病リ寒ヨリ
発スルハ少シ然ト雖比一繁
ニ論スベカラス中障内障虚眼
等ハコレ冷風ヨリ発ス内障腎
水不足自失ス其外ノ諸眼ニ又寒
アリ尤ヨク其寒熱ヲ辨察ノ後

藥ヲ施スヘシ

傳云眼ハ大率熱ヨリ発スト雖
比寒ヨリ發スル者モ又コレ有
ソノ色鰵ク意仁ノ玉ノ如クナ
ル者ハ寒也ソノ血色晚ノ如ク
或ハ紅色雞冠血ノ如ナルモノ
ハ熱ナリ

傳云寒ハ補ハ熱ハ泻ス流氣飲
補眼湯明眼地黄湯蒲葦湯
敗毒散菊花散等四物湯内
障ノ諸案中瘡虛眼等ノ藥ハ温
トナルヲ有冷トナルヲ有浮ト
ルヲ有補トナルヲ有時ニ從テ加
減ニ依ヘシ但西物湯以下ハ多

ハコシ温補ノ茶ナリ

治不_ナ治_チ辨_ハ論_ロ

十七

夫治_ト不_フ治_チヲ窮_キル_ル一_ノ終_ニ病_ヤ月_{ツキ}血_{ケツ}
月_{ツキ}等_トノ輕_カく_シキ証_シト雖_モトモ定_カ
バンハ有_ルベカラス况_ハ其_ノ余_ヲノ
重_シキ眼_メ病_ヤヲ尤_モ時_ニ隨_テ治_ス不_レ
治_シ定_ムベシ豫_メ定_メ難_シ
○釣_{ツリ}膜_マモシ血_チ筋_ス腫_ハ子_ニヲ大_ニ背_セ小_コ
腎_ミヘ貫_スキ濁_ヲテ黑_ク眼_メノメグリ察_ス
ナキハ必_ズス育_ムモノ也
○膜_マ筋_スノ先_ニ膿_ノアリテ筋_ス黄_ク色_ニ
ナルハ不_レ治_ス
○肉_{ニク}膜_マニ血_チ腫_ハ子_ニ入_リテ腫_ハ子_ニヒ
ラクハ治_シガタシ

○擦_サ肉_{ニク}内_ニ瘰_ロト及_ビスル者_ヲハ難_シ治_ス
○水_ミ膜_マ腫_ハ子_ニ入_リハ難_シ治_ス
○外_{ウチ}瘰_ロ厚_クノ年_ニ月_{ツキ}ヲ經_スハ不_レ治_ス
○蟹_{カニ}眼_メ腫_ハ子_ニヲ破_ハ壞_スルハ不_レ治_ス
○疱_{カサ}瘡_サ眼_メ百_ニ日_{ツキ}余_ヲニ至_リバ不_レ治_ス
○海_{カイ}眼_メ瘰_ロナル人_ノハ膜_マ白_ク黒_クノ差_{アリ}
別_ニナシ腫_ハ子_ニヲ覆_フハ不_レ治_ス
○心_{ココロ}ニ甚_シク愁_ム有_リテ後_ノ眼_メヲ病_ム
眼_メ色_ニカナラス蟹_{カニ}ハ不_レ治_ス
○雀_{セキ}月_{ツキ}大_ニ歳_ニ已_ニ上_リハ不_レ治_ス小_コ兒_ニ治_ス
○土_{ツチ}肉_{ニク}多_クノ血_チ筋_スヨコニ腫_ハ子_ニヲ
貫_スキ大_ニ背_セ小_コ背_セニ及_ビ者_ヲハ不_レ治_ス
○簾_{スレン}膜_マ上_ニヨリ懸_カモノハ不_レ治_ス
○諸_{モロ}ノ懸_カモノ上_ニヨリ障_{サマ}礙_ニヲ

スハ除キカタシ

○風眼疼痛ヤマザルハ不治

○風眼陰ヨリ發スルハ難治

○腫子ノ遠リノ皮一重ウチニ

光輪アリテ烏睛ニ至者ハ不治

○眼ニ血勢アルハ治ス血勢ナ

キハ不治又血ノ色鰐ハ不治タ

タ赤キハ治ス

按ルニ諸眼ノ治不治ノ機發

ハ病眼ノ虛實時節ノ應變ヲ

考テステ知ヘシ而後施治可

四季投藥

○春ハ眼ノ養性シヤスシ故ニ

内藥及ヒ指藥數回ニ至テ至

○夏ハ内藥ハ數貼ニ及ベシ指

藥ハ多ク用ヒ難シ七服下難用

○秋ハ春ノ養生ノゴトク内藥

指藥數回ニ及ブベカラズ

○冬ハ内外ノ兩藥數回ニテ治

スベシ必陰氣ヨリ發ス故病甚

肥瘦分別

○肥瘦ノ人ハ必ス痰アリ氣壅ア

リ血多トアリ大黃蘇木紅花

仁牛膝等ノ藥又三黃圓ナドヲ

用テ血滯スルヲ正トス。二本所

皮衣冬半夏等ヲ以テ痰ヲ導キ
 氣ヲ補フツギトス
 瘦黒ノ人ハ血虚スル一有
 湯ヲ用テ血ヲ振養スル一專也
 虚癰ノ人眼病ヲ患フルトキハ
 タトヒ病甚トモ浮茶ノ劑ヲ用
 ユベカラズ唯四物湯ニ加減
 用スベシ血氣充滿ノ人ニハ
 茶ヲ用ユベシ眼病ハ血氣ノ所
 在ナレバ也但シ口傳アリ

食物宜禁

干梅 干菜 葛粉
 黑胡麻 大麥

牛房 串掛 葱 菊
 芥子 芋 五加 款冬
 槲 枸杞 砂糖 干鯛
 煎海鼠 鱧 串蛇 鱈 鯉
 貝類 山鳥 鷹 鷺 雀
 鰻 鯉 兔 雉

禁

豆腐 酒 笋 油 麵類
 葫 蕎麥 五稗 黍 昆蕒
 蕪 菱 蕨 川魚 鮎 鮫
 黑鯛 鰻 鮓 鮓 鮓

内外通禁

娼 犯 妄酒 湯遊 加業
 音曲 行遊 遠見 細工

讀書 光見 盤上 煙中
溫熱食物 溫服 思量
頭灸針不用

灸法 九二

○風門 上氣ノ眼赤暗ヲ治ス
○三里 風門ニ灸ノ後瘡癢ノ
後上氣膜翳等ニ灸ニ灸ス
○肝俞 虛眼光ナキニ是穴ニ
灸ス惣ノ眼ハ肝ノ主トコ也
故ニ灸ニ灸スルノ甚多
○腎俞 虛眼光ナク或ハ内瘰
等ノ証ニ此穴ニ灸ス
○膏肓 瘰癧ヨリ發ル眼ヲ治
○肺俞 氣鬱ヨリ發ル眼病ヲ

ノ外ノ諸眼ニ皆コノ穴ニ灸ス
○上星 眇或ハ翳膜ノ出ヲ治
○後頂 同前
○翳風 右眼ヲ患ヘハ左ニ灸
左眼ヲ患ヘハ右ニ灸ス
○陶道 翳膜又ハ眇ヲ治ス
○合谷 小兒ノ雀目瘰癧ヲ治
○神道 心氣虛ノ眼光無ヲ治
○小兒雀目及ビ瘰癧ニハ手ノ
大指ノ横文ノ頭ノ處ノ左右ニ
灸スベシ蓋シ合谷ニ灸ノモヨ
シカ妙穴ナリ

内瘰鍼 二十三

内瘰ニ針立ルヲ先ソノ入ヲ

同ニ向テ仰ニ卧レヌ頭目ヲ
サズノ手ヲ以テ眼ヲ按ヘ針先
ニ唐墨ヲ塗テ白黒ノ境ヨリ
鍼ヲ横ニシ腫子ノ通内瘻ノ真
中ヘ行テニヒ子リメ是ヲ抜バ
膿少シ出ベシ其トキ射香ヲ以
テ針ノ跡ニ灌キ必ス眼ヲトゲ
塞カシメ濃紺ノ綃ニテ眼目ヲ
縛リ一宿ニ及ブベシソノ糸縛
スル一弱カラス強カラスメ明
目ニ至テ弛ベシ一七日ノ間色
ノ物ヲ觀ベカラス或云花藤子
ヲ用テ研テ針ノ跡ニヌレハ一
宿ヲ経テ膿自ラ出ト云リ鍼ヲ

切膜口傳

之ル一深サ五分ニ過ズ口傳有
或云大背ノ側ノ白黒ノ境ヨリ
針先ヲ腫ノ方ニ傾テ二針ヲ抜
膜ヲ切一上下ノ膜及ビ白眼ニ
膜覆テアラバ引カニテ切ベシ
紙ニテ血ヲノゴウテ眼ニ残リ
滯スヤウニスベシ又白眼ニ薄
膜覆テ有テ其下地ニ又膜ノ脉
多ク有ハソノ多キ脉ヲ切ベシ
此口傳ヲ知バノ妄リニ眼ヲ損
スル一多シ或ハ又カノ証ニ血
膨アラハ其血膜ノ多ク出タル
者ヲ割ベシ是ヲ血膜ト名ツル

血脈切分 二五

夫血ノ通フ脈ヲ切テ大事ノ一也所以ハ經曰眼得血能視然ル
トキハ唯血眼上氣膜ヲ切テ外邪
無ノ血筋多キハ實眼ナリ切ベ
ニ唯風眼ノ類病同等ニハ甚禁
之ツ血脉大背小背ヨリ大小
ノ筋出ルアアバ先ノ小筋
血脈ヲ白黒ノ境ニテ切ベシ重
テ切レト思ハハ十二日ヲ經テ
切ベシ若脈ノ小ナル者ヲ切テ
血退バンハ大ナル脈ヲ切ベシ
口傳其脈ノ切口ニ斂スベシ

血眼取血法 二六

何ノ眼ニテモ血余アラハ眼ノ
上ノ脈ヲヒキ回シ其脈ノ裏ニ
横サマニ引カスベシサテヨク
血ヲ拭ヒ捺テ後引カノ跡ヲ舌
ヲ以テ舐テ見ルニ黄赤ノ色ア
ルハ重テ又引カスヘシ唯赤色
アルハ重テ引カヲ用ヒス
傳云麥ノ禾ノ長ニテ脈ノ裏ヲ
引ハ血出モノヤ引カノ如シ
又風毒眼ニ血多ハ大度ノ者之
ヨク慎ミ思ルベシ

溫熱鐵事 二十七

溫金ハ諸眼ニ用之ヨク血ヲ去
眼ヲ和ス但シ風毒眼等ノ外

ノ眼ノ血氣盛ナルニ是ヲ用
バカエリテ血ヲ倍腫ヲ生ジ疼
ヲナスモノヤ
熱鐵ハ脉膜筋ノ切口ニ當ル
又ソノ外ニ用ルモアリ口傳
アリ又風眼ニハ禁ベシ若訛テ
是ヲ用ユル時ハ惡ノ右ノ如シ

眼目明鑑卷之四終

